

広報

たまがみ

8

2011 月号

No. 495
平成23年8月10日



がんばろう、只見町

八木沢地区で民家の泥出し作業を
手伝う只見高校野球部員

24時間降水量・全国最多



かつてない豪雨が7月29日、只見町を襲い、想像を絶する被害を町全域にもたらしました。

30日の午前9時現在、当町での24時間降水量の最大値が523・5ミリを

記録、この数値は観測史上最大で、全国でも最多の降水量となりました。

この豪雨により、町内を流れる只見川、伊南川、黒谷川などをはじめとするすべての川や沢の水位は異常に上昇、濁流となり町内各地に経験したことのない最大級の爪痕を残しました。

甚大な被害

この豪雨で、一部の家屋が

刻一刻と川の水かさが増すなか、土のうを積み、浸水しそうな民家の水をポンプで吐き出し、避難誘導を行うなど、被害を最小限に抑えようとする迅速な水防活動が行われました。

迅速な水防活動

水防本部が同日の正午に設置され、町内の消防団員によ

日現在

水道や電気、電話などのライフラインも使用できぬ地
区がまだあり、給水車で水を運んだり、衛星電話を配置するなどの対応を行っています。過去に例のない甚大な豪雨災害を受けた只見町ですが、毎日、全力で復旧作業を行なっています。町民の皆さん、一致団結、力を合わせて頑張りますよう。被災された皆様へ、心よりお見舞い申し上げます。

▶土砂に埋もれた民家と自動車(熊倉地区)

災害対策本部設置

同日の午後5時に災害対策本部を設置、午後5時30分に町内全1960世帯、4990人に避難勧告を出しました。その後も大雨は降り続き、町区の集会所などに避難しました。午後6時には、自衛隊に派遣要請を行い緊急時の体制を整えました。

さらに、農作物や農地、農業用施設などにも大きな被害が出ています。現在調査中です。このような被害に遭われ、避難をされている方も100名以上おられます。(8月6日現在)

新潟・福島豪雨

流れたり、土砂で埋まつたりしたほか、家屋の全部や一階部分が完全に浸水してしまったなどの被害を受けました。

また、町内の至る所で道路が濁流にえぐり取られたり、橋が落ちたり傾いたりして、通行不能になりました。鉄道のJR只見線も会津宮下から小出駅間で上下線ともストップしています。

町民の皆様へ

只見町長 目黒 吉久

このたびの新潟・福島豪雨は只見町に甚大な被害をもたらしました。被害を受けられた皆様に心よりお見舞いを申し上げます。

当町では国・県道を始め家屋や農地、店舗等について全町にわたり大きな被害が生じましたが、こうした中で人的被害が少なかったことは、消防団の働きや地元の方々の適切な判断・防災意識の高さ、さらには人命救助を最優先に、自衛隊・県警察・広域消防・地元消防団の迅速な救助・救出作業のおかげであります。

また、今回大きな被害のあった道路につきましても、最大160名に及ぶ避難所の方々が一日でも早く自宅に帰れるよう、仮復旧に係機関をはじめ事業者の方々に全力を注いでいただき、孤立した八木沢から塩沢までは、車で通行可能となり、入叶津・中ノ平、黒谷入にも通行できるよう対処しております。

さらに、今回特にありがたかったことは、ボランティアセンターが設置され、町内ばかりではなく町外、県外から多くのボランティアの方々に来ていただき、家屋内の土砂の撤去を行っていただいております。また、近隣町村消防団の応援、交流都市の柏市からの職員の派遣、県内市町村や諸団体からの物資等の支援もいただいており、心から感謝申し上げるとともに町民の皆様へ報告させていただきます。

さて、今後の災害復旧、生活支援への対応につきましては、まずもって避難されている方々が、一刻も早く自宅に帰ることができるよう支援体制の確保と強化を図るとともに、住宅整備・確保に時間を要する方に対しては仮設住宅や二次避難等を通して対応してまいりたいと考えております。

また、道路や河川の本復旧までの間、二次災害の心配のないよう安全対策については、町としても取り組むとともに、それぞれの管理者へも求めてまいります。本復旧に際しては二度とこうした災害が起こらないよう、今回の災害の事実を直視し、将来に渡って安全・安心を確保するため、近隣町村とも協議し、その内容を強力に国・県等に要望してまいります。

お盆の季節、子供や孫が来ることを楽しみに待っている中で被災された皆さんには大変な苦痛と不安の中での生活を送られていると思いますが、どうかくじけないでください。農業者、商業者の皆さんも大きな痛手を受けましたが、先人達も幾多の苦難を乗り越え今日があるのでから、どうか希望を失わないでください。

町といたしましても議会とともに精一杯の支援に取り組み、町民の皆さんと心を一つにして前に進んでまいる所存であります。

8月7日、記

なぜ豪雨に?

上空の 低温大気流入が原因

日本海から東北にかけて前線が停滞し、暖かくしついた空気が大量に流れ込んで、積乱雲が発生、同時に上空約6000m付近で日本海側から入り込んだ乾いた大気が周囲より3度も低く、低温だったため、この不安定な状態が3日間続き、今回の豪雨となりました。このときの上空の温度はマイナス6度でした。



▲濁流をくい止めようと土のうを設置する町民(福井地区)

被害状況速報

(4) 農業等被害

- ・農作物
 - 水田冠水等 101.36 ha
 - 水田転作冠水等 9.91 ha
 - 花卉冠水等 2.30 ha
- ・農地等 37.20 ha
- ・農業施設等 38箇所
 - (福井ため池、岩下堰(黒谷)、袋堰(黒谷入)、排水ポンプ(新町) 外)



▲流失した水田(八木沢地区)

3 避難者の状況

(1) 避難所の状況

地区名	朝日地区センター	只見小学校	叶津番所	合計
塩 沢		0名		0名
		0世帯		0世帯
蒲 生		0名		0名
		0世帯		0世帯
八 木 沢		17名		17名
		10世帯		10世帯
叶 津		2名		2名
		1世帯		1世帯
入 叶 津		19名	6名	25名
		9世帯	3世帯	12世帯
大字只見		34名		34名
		19世帯		19世帯
内 訳	沖	25名		25名
		14世帯		14世帯
上 町		1名		1名
		1世帯		1世帯
新 町		1名		1名
		1世帯		1世帯
田 中		7名		7名
		3世帯		3世帯
黒 谷 入	53名	0名		53名
	30世帯	0世帯		30世帯
合 計	53名	70名	8名	131名
	30世帯	38世帯	4世帯	72世帯

(2) 福祉避難所の状況

- ・只見ホーム 2名1世帯 (入叶津 2名1世帯)
- ・朝日診療所(入院) 4名3世帯 (蒲生 3名2世帯、田中 1名1世帯)
- ・和の里 1名1世帯 (蒲生 1名1世帯)
- ・こぶし苑 3名3世帯 (塩沢 1名1世帯、蒲生 2名2世帯)
- ・保健福祉センター 2名1世帯 (八木沢 2名1世帯)

平成23年7月新潟・福島豪雨による

1 概 况

平成23年8月7日(日) 16:00 現在
只見町災害対策本部

- 7月28日 7:33 大雨警報発表
14:47 洪水警報発表
- 7月29日 12:00 水防本部設置
17:00 災害対策本部設置
17:30 全世帯避難勧告
18:00 自衛隊への派遣要請
(町から県へ)
- 8月2日 8:30 自衛隊撤収
9:00 全世帯避難勧告解除
- 8月3日 13:00 自衛隊への派遣要請
(町から県へ)



▲毎日開かれる本部会議

2 被害の状況

(1) 人的被害

- 行方不明者1名

(2) 建物被害

住居関連

- 床下浸水 250棟 (250世帯 600人)
- 床上浸水 100棟 (125世帯 317人)
- 家屋流失 (流失による一部壊滅)
住宅 4棟 (叶津3、八木沢1)
非住宅 6棟 (叶津3、中ノ平3)
- 家屋土砂埋没等
住宅 3棟 (熊倉2、二軒在家1)
空家 1棟 (熊倉1)
- その他店舗等 41棟 (黒谷4、館ノ川1、只見30、叶津1、八木沢1、樅戸3、福井1)



▲消防団らによる捜索活動

(3) 道路等状況

- 落橋 3橋 (小川橋(小川)、峰沢橋(黒谷入)、万代橋(宮渕))
- 通行不能橋 4橋 (五礼橋(八木沢)、中ノ平橋(中ノ平)、花立橋(樅戸)、樅戸橋(樅戸))
- 町道 調査中
- 林道 139箇所 (樅戸橋取付部決壊、路体・側路・法面崩壊等)
会津宮下～小出駅間の上下線で終日運転を見合わせ
会津若松～会津宮下駅間の上下線の一部列車が運休
(8月7日4時9分配信)

叶津や八木沢地区では家屋が流され、町内各地で増水した川に家屋が浸水、また、熊倉や二軒在家地区では土石流に埋没しました。



▲一階部分が、濁流に飲み込まれた家屋(八木沢地区)



▲只見温泉保養センターも浸水(写真は大広間)



▲土石流に襲われた家屋(二軒在家地区)

家屋が流され、 土石流に埋まる



▲約50m流され、原形をとどめない家屋(八木沢地区)



▲一階の一部が流失した家屋(叶津地区)



▲流木が玄関の壁に突き刺さった家屋(叶津地区)

増水した川の濁流は、容赦なく生活に不可欠な道路や橋を崩壊させ、一部の集落を孤立化させました。



▲花立橋(楨戸地区)



▲堅盤橋(叶津地区)



▲五礼橋(八木沢地区)



▲万代橋(宮渕地区)



▲小川橋(小川地区)

道路が崩れ、 橋が落ちた



▲町道「御藏前黒下4号線」(黒谷地区)



▲町道「小林塩ノ岐線」(塩ノ岐地区)



▲町道「関野土橋線」(小川地区)



▲国道252号塩沢スノーケレッジ付近



▲町道「黒谷倉谷線」(黒谷地区)

福島県知事・ 政府調査団が視察

佐藤雄平知事は8月2日、町内の被害状況を視察しました。その後、季の郷湯ら里で政府調査団と合流、東祥三内閣府副大臣（防災担当）に対し、激甚災害への早期指定や被災自治体への財政支援などが盛り込まれた緊急要望を行いました。東副大臣ら政府調査団27名も只見地区の避難所を訪れ、被災者を激励しました。



▲要望書を読む佐藤知事(湯ら里)



▲八木沢地区を視察する佐藤知事(中央)



▲只見小避難所で避難者を激励する東副大臣(中央)



▲あいさつをする東副大臣(湯ら里)

災害ボランティアに感謝

8月1日、社会福祉活動センター「やまびこ」に災害ボランティアセンターが開設され、ボランティアを希望される方が毎日訪れています。受付をされた後、早速被災地に入り、家具などの運び出しや、泥や砂の撤去を手伝っていました。暑いなかありがとうございます。今後も、ボランティアのご協力が必要です。皆様よろしくお願いします。



▲泥の撤去作業をする昭和村消防団員(八木沢地区)



▲災害ボランティアセンターの様子



▲本格料理を手渡すプロの料理人(只見小避難所)



▲家具の整理を手伝うハートネットふくしまの皆さん

柏市に臨時 アンテナショップ 開設!

風評被害に
負けない!



▲多くの来場者でにぎわった只見コーナー

町は、東日本大震災による風評被害を吹き飛ばそうと、7月16日から8月3日まで、千葉県柏市にある道の駅「しょうなん」に只見町の臨時アンテナショップを開設しました。

初日は目黒町長と柏市の浅羽大嗣副市長が開会式に出席、あいさつを述べたあと、来場者も参加しての餅つき大会などを行いました。ついたお餅は会場の皆さんに振る舞われ、大好評でした。

臨時アンテナショップでは、山菜加工品、味噌、ドレッシング、お菓子など只見町の特産品のほかカブトムシも販売されました。

来場者は次々と商品を購入し、「応援しているから頑張って!」「今度遊びに行きます」「など励ましの言葉をかけていました。この臨時アンテナショップの開設準備



▲子どもたちに大人気のかぶトムシ

に携わった只見町産業振興課の職員は「平成23年7月新潟・福島豪雨の影響で、当初の予定より10日ほど早く終了したのは残念ですが、多くの人に只見町を応援していただき大変感激しました。只見町に来られた方には最高のおもてなしをすることで恩返しをしたい」と笑顔で話していました。

栄養士さんからの健康メモ 「夏バテ防止の食事です！」

栄養士 平野祥子

★食事のポイントは…

1. 規則正しい食事

暑さのために食欲が減退します。しかし、この暑さに負けないように1日3食、生活リズムを整え、必要な栄養素をしっかり補給しましょう。

2. 冷たいものの飲みすぎや食べ過ぎに気をつける

冷たい飲み物や食べ物のとりすぎは胃腸の働きを悪くします。私たちの体の60～70%は水分です。大量に汗をかく夏は、特に水分補給は重要です。一度に大量に水分補給するのではなく、こまめな水分補給は大切です。また、清涼飲料水などの糖分は食欲を減退させます。水分は水や麦茶などでとりましょう。ちなみに、500mlペットボトルに清涼飲料水で砂糖約55g、スポーツ飲料水で約35gの砂糖が含まれています。



3. ビタミン群の上手な摂取

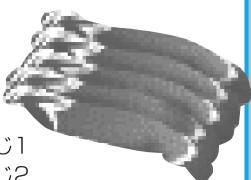
体内では気温が上がるとビタミンB1の消費が増えます。ビタミンB1はエネルギー源である糖質を燃焼する際に必要とされます。ビタミンB1がないと糖質はエネルギーに変換できません。夏場の疲労感や倦怠感の撃退にはエネルギー源の糖質に加えてビタミンB1を積極的にとるようにしましょう。ビタミンB1を多く含む食品としては、豚肉、玄米、ゴマなどがあげられます。この中でも特に豚肉には良質で大量のビタミンB1が含まれています。また、夏野菜のトマトにはビタミンCやAが豊富に含まれています。トマトの赤色はリコピンによるもので、抗酸化作用が高いといわれています。



1 オクラの豚肉巻き

■材料（2人分）

豚ロース肉（薄切り）	…6枚
オクラ	…6本
小麦粉	…適量
酒	…大さじ1
サラダ油	…小さじ2
しょうが（絞り汁）	…1片分
しょう油	…小さじ2
塩	…少々



■作り方

- ①オクラはヘタとガクを取り、塩少々（分量外）をまぶして板ざりし、さっと洗ってゆで、水にとる。
- ②豚肉は〈A〉をまぶして下味をつける。
- ③まな板に〈②〉を1枚ずつ広げ、薄く小麦粉をふり、①を1本ずつのせて端から巻く。
- ④フライパンにサラダ油を熱し、〈③〉の巻き終わりを下にして並べ、焼き色がついたら、時々返して全体に焼き色をつける。
- ⑤酒をふり、ふたをして2分ほど蒸し焼きにして器に盛る。

2 フレッシュトマト寒天

■材料（8人分）

角寒天	…1本
トマト（中）	…4個
砂糖	…40g



■作り方

- ①角寒天をたっぷりの水で戻す。寒天が軟らかくなったら、しっかりと水分をしぼって小さくちぎっておく。
- ②トマトを熱湯につけ、湯むきする。
- ③湯むきしたトマトの種を取り、万能こしでこし、湯むきした実をざく切りにする。
- ④鍋に〈③〉のこし汁とざく切りにしたトマトを入れ、ピューレ状にする。
- ⑤ちぎった寒天を入れ、完全に煮溶かす。溶けたら砂糖を加える。
- ⑥型に流しいれ冷まし、固める。固まったら食べやすい大きさに切り、器に盛る。

■Anna・George
・1987年生まれ。英国ノーザン出身。
・2010年8月から只見町英語指導助手。
・小学校と中学校で語学の指導を行います。

日本はこんなにも暑くなるんだ、ということを忘れてしまっていません。学校の各教室は特に暑いです。イングランドでは、気温は高くなりますが、湿度は低くて過ごしやすいと思います。なので、日本の暑さにはびっくりします。

夏にはたくさんお祭りがありますね。夏休み期間中にあちこちのお祭りに行くのが楽しみです。今年は浴衣を買おうと思っています。今まで買ったことがないので、今からそれを買つたり着たりすることを考えてわくわくしています。

(訳・只見中・福地)

私が只見に来て、そろそろ1年がたとうとしています。時がた1年、日本で過ごせることを楽しみにしています。もつと日本語が上手になつて、来年までに少なくとも2000語の漢字を覚えようと決めました。きっとこうやって勉強していくことが、より深く日本の文化を知ることにつながっていくのだと思っています。

夏休み中は、南会津郡の英語弁論大会に向けての練習をお手伝いします。只見中代表として出場する生徒が一生懸命練習し、精一杯発表ができるいいなあと思っています。私のような長い英文を覚えることはとても大変です。生徒つてすごいなあと思います。

今月は尾瀬国立公園に行つてきます。日本の美しい景色を観て、楽しんできます。

心筋梗塞の治療は詰まつた冠動脈の詰まりをとることが治療となります。手や足の付け

暑い日が続いているが、いかがお過ごしでしょうか。今回は、心筋梗塞についてのお話です。

心臓というのは全身に血液を送るポンプのような役割をしています。その心臓も血液がないと活動ができません。

心臓に栄養を与えている血管を「冠動脈」といいます。その冠動脈が動脈硬化によつてしまふと、心筋梗塞となります。心臓に栄養を与えている血管が詰まるので、心臓の筋肉（心筋）が壊死してしまいます。重症の場合、心破裂、致死性不整脈などを引き起こし、突然死となります。

心筋梗塞は発症すると、90分以内に行なうことが望ましいとされています。只見では90分以内に行なうことが望ましいとされています。只見ではその治療が行えません。会津若松まで若松まで行かなければ治療できないのです。会津若松までは移動に120分を要し、適切なタイミングでの治療が困難な地域に皆さんは住んでいます。

では、どうするか、心筋梗塞を発症しないようにすればよいと考えられます。心筋梗

塞の危険因子は、脂質異常症、

高血圧症、喫煙、糖尿病、肥

満、ストレス過多などコント

ロールできるものと加齢、男

性、家族歴などのコントロー

ルできないものがあります。

コントロールできるものをし

つかりコントロールすること

で、心筋梗塞のリスクは低減

できるでしょう。

人中3人は病院に到着する前に亡くなります。大切なのは発症の予防であることがわかる数字ですね。生活を見直し、よりよい人生を送りたいものです。病気の相談、禁煙の相談は診療所で受け付けておりますので、気軽に相談ください。

広報ただみ診療所

朝日診療所 所長 星野 弘尊

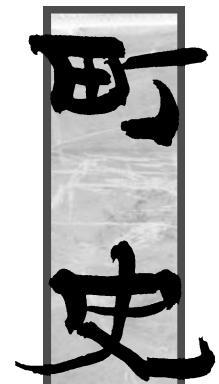
『心筋梗塞について』

只見瞽女夜話

とつておきの話

205

洋画家 渡部等



八月号からは只見に訪れた瞽女の話です。執筆は、只見町小川在住の洋画家・渡部等さんです。渡部さんは、画業のかたわら、子どものころに出会った瞽女に惹かれ、その軌跡を追い続けておられます。瞽女の生きざま、只見での活動など、これまでの調査成果を六回にわたって綴っています。

瞽女との出会い

三味線を持ち、重い荷物を背負つて三人、四人と一列に並んで歩いて行く女性たち。いろいろな村を訪れて門付けするため、彼女たちは旅を続けます。……瞽女と呼ばれた人たちです。越後では昔から彼女たちのことを「ごぜさ」と呼んできました。瞽女さまや瞽女さんがなまつてそう呼ぶようです。只見地方では、「ごぜんぼ」といえますが、長岡市の瞽女研究家・鈴木昭英氏によると、その名前はどうちらかと言うと蔑称だそうです。かつて彼女たちは越後内に限らず東日本一円に芸を披露しながら歩き回っていました。秋田、仙台いわき、長野、群馬、東京、横

浜、富山、福井とその活動範囲は気の遠くなるほどです。当然、隣接している会津地方、そして只見地方にも頻繁に来ていました。

平成十七年に一〇五歳で亡くなった小林ハルさんが最後の瞽女として新聞に大きく取り上げられていました。

いたのを記憶していますが、この人の口伝をまとめたものを読むと、只見地方にも八十里越を越えてやつてきていることがわかります。

叶津・八木沢・田子倉・橋戸などの地名も出てきます。瞽女宿もあつたようですが、今から百年ほど

前の小林ハルさんが初めて来たころは、親方に言いつけられて泊めてくれる家を方々探し歩いたようです。只見地方でも二代か三代前の人たちは、この瞽女唄や瞽女三昧線の音を聞いてきたのです。

わたしが瞽女というものを初めて意識して見たのは、小学校低学年のことです。雁木の石畳道で友人とメンコに興じていると、向かいの家並みの玄関先で三人並んで三昧線をかき鳴らし唄い始めたのを見ています。子ども心にも不思議な光景でした。この三人こそ、最後の高田瞽女、杉本キクイ・杉本シズ・難波コトミの三氏だったのです。当時、国的重要無形文化

財、いわゆる人間国宝には指定されていませんでしたが、昭和四十五年には指定されていますので、ボットライトが当たられ出した時期だとわれます。

その頃、映画「吉原炎上」の原作者で画家の斎藤真一氏が足繁く杉本さん宅を訪れては絵にすべくさかんに取材していたといいます。

有名画家の仲間入りを果たしていますが、このことは無情にもわたしを瞽女を描くことから突き放してしまいました。ともかく、昭和四十年前半のことではありますが、瞽女という存在を見て記憶している人間としては、おそらくわたしが最後の世代だと思います。

の痕跡をたどることは、混迷するこの時代、とくに三月十一日の東日本大震災を経験したわれわれにとって少なからざるヒントやメッセージを投げかけられるものと思われます。この連載の何回かをお借りして、瞽女を知る町の人の話やエピソードも織り込みながら筆を進めていきたいと思います。



盲目の旅芸人・瞽女(渡部等・絵)



只見短歌会

六月詠草

大塚栄一 指導

馬場 八智

屋根よりも伸びし白樺伐りたけれど孫誕生の年に植ゑたり

吉津 政枝

濁流に呑まれ今なほ七千人も不明者多く心痛むも

古川 英子

田植後の整形外来混み合へば壁にもたれて順番を待つ

目黒 富子

師の歌集の貢開きて供へあり従妹の笑みし遺影の前に

五十嵐英子

久びさに外泊に来て妹の庭のつつじの花殻を摘む

渡部ゆき子

学院にいちごを持ちて帰る孫が放射能汚染は大丈夫かと言ふ

五十嵐夏美

知恵遅き子に薄皮を剥かせれば気の減るほどに芋削るなり

皆川 恒子

膝痛みかがむこと出来ぬわれなれば板の間拭くさへ頭痛伴ふ

渡部ヨリ子

病みをれば雀鳴く声も騒がしく夢うつに臥す耳に入りくる

新国 洋子

園芸の売上げ少なくこの夏は昆虫扱ふと孫は勢ふ

(出 詠 順)

只見俳句会

七月例会

目黒十一 指導

邦 夫

髭剃りの鏡に搖るる吊忍

敦公の声すべり来る只見ダム

エプロンの白さ干されて夏に入る

草刈の音ひびき来る朝の空

夏至近き夕べカーテン早も引く

莢豌豆離れ住む子を思いおり

五十嵐英子

七十嵐英子

久びさに外泊に来て妹の庭のつつじの花殻を摘む

渡部ゆき子

学院にいちごを持ちて帰る孫が放射能汚染は大丈夫かと言ふ

五十嵐夏美

知恵遅き子に薄皮を剥かせれば気の減るほどに芋削るなり

皆川 恒子

膝痛みかがむこと出来ぬわれなれば板の間拭くさへ頭痛伴ふ

渡部ヨリ子

病みをれば雀鳴く声も騒がしく夢うつに臥す耳に入りくる

新国 洋子

園芸の売上げ少なくこの夏は昆虫扱ふと孫は勢ふ

朝顔やつかまり立ちの一一番花

洋 子

発つ人の荷の重たさを立葵

いたどりの花穂の先の紅の色
朝靄や赤翡翠の声響く

今月の お知らせ

電話番号

総務企画課	☎82-5050
総務班	☎82-5210
企画班	☎82-5220
町民生活課	☎82-5110
税務班	☎82-5100
保健福祉課	☎84-7005
福祉班	☎84-7010
産業振興課	☎82-5230
農林班	☎82-5240
交流推進班	
環境整備課	☎82-5270
地域整備班	☎82-5280
生活環境班	
会計室	☎82-5120
議会事務局	☎82-5300
農業委員会	☎82-5230
教育委員会	☎82-5320
学校給食センター	☎84-7180
只見保育所	☎82-2219
朝日保育所	☎84-2038
明和保育所	☎86-2249
朝日診療所 (歯科)	☎84-2221
訪問看護ステーション	☎84-2130
こぶし苑	☎84-2101
保健福祉センター	☎84-7005
只見地区センター	☎82-2141
朝日地区センター	☎84-2111
明和地区センター	☎86-2111

8月25日までに納めましょう
● 町県民税(2期)
● 国民健康保険税(2期)
● 農集排使料(8月分)
● 介護保険料(2期)
● 後期高齢者医療保険料(1期)

税 今月の納期

朝日診療所Q&A

いんなどりき
じつかいの?

Q 予約はしていないが、いつも診てもらっている〇〇先生に診てもらいたい。

A 申し訳ありませんが予約外の受付では先生の指定はできません。どうしても〇〇先生に診てもらいたい。と強く希望される場合はご希望の先生の外来診療日に予約を入れて来ていただくなのが確実です。

Q 保険証を忘れた。変更手続き中で手元に保険証がない。

A どちらの場合も診察は受けられます。保険証を忘れた方は、定期的に通院されている方は、次回忘れずに保険証を見せてください。定期的に通院されていない方と保険証の変更手続き中

▼問い合わせ

朝日診療所

☎ 0241-84-12221

A 代表電話 (84-12221) なるのに予約するのを忘れてしまった。今日飲む薬がない。

A 連絡してください。但し、診療所には限られた薬しか置いていませんため、院外薬局が開いていない夜間や早朝、土日祝祭日にはご希望の薬を出すことができません。平日の診療時間内であれば予約外として受け付けいたします。

利用制度

おもひやり駐車場

ダウンロードできます

△確認書類

身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、介護

保険被保険者証、特定疾患医療受給者証、母子健康手帳、診断書(けがの場合)

△窓口連絡先

保健福祉課

☎ 0241-84-17010

町民生活課

☎ 0241-82-5100

朝日地区センター

☎ 0241-84-12111

明和地区センター

☎ 0241-86-12111

南会津保健福祉事務所

☎ 0241-63-0305

福島県高齢福祉課

☎ 0241-5211-7197

△申請方法

窓口に備え付けの申請書に記入のうえ、確認書類の写しを添付して申請してください。

(申請書は県のホームページでご覧ください。

この制度は、県民の皆さんのおもいやりによって運用されるものです。ご理解とご協力をお願いします。

8月は食品衛生月間です。
▼厚生労働省のホームページ
<http://www.mhlw.go.jp/tokyos/bukyoku/iyaku/syokuuan/index.html>

福島県のホームページ
<http://www.pref.fukushima.jp/eisei/syokuan/syokuanindex.html>

平成23年度自動車税定期課税の実施について

県では、現在、東日本大震災に伴い平成23年度自動車税の定期課税を延期しておりますが、原子力災害区域に係る一部市町村【田村市、南相馬市、伊達郡川俣町、双葉郡8町村（浪江町、葛尾村、双葉町、大熊町、富岡町、川内村、楢葉町、広野町）、相馬郡飯舘村】を除き、次の日程で課税を実施いたします。

►► 納税通知書の発付日 9月 7日（水）
►► 紳期限 10月31日（月）

なお、この間に車検有効期間が満了する自動車については、平成22年度の納税証明書（平成23年10月30日まで有効）で車検を更新することができます。

【問い合わせ先電話番号】

南会津地方振興局県税部	0241-62-5214
県北地方振興局県税部	024-523-0051
県中地方振興局県税部	024-935-1261
県南地方振興局県税部	0248-23-1519
会津地方振興局県税部	0242-29-5261
相双地方振興局県税部	0244-26-1127

※いずれかに
ご連絡ください。

消費生活無料法律相談。 生活再建等相談について

あなたの悩みを
いっしょに
解決しませんか？



県では、弁護士・司法書士による
法律相談及び
FP(※)による生活再建等相談
を実施しています。

(※) FP(ファイナンシャルプランナー)とは
金融・保険等生活設計のスペシャリストです。

【法律相談】

(平日) 毎週月・木曜日、13:00~17:00
来所(要予約) 及び電話

(休日) 每月第4日曜日、10:00~15:00
来所(要予約)のみ

【FP相談】

毎月第4木曜日 13:00~17:00
来所(要予約) 及び電話
(予約・お問い合わせ先)

県消費生活センター

相談電話 024-521-0999

町長室日誌

〈7月分〉

- 3日 只見音研・つくし会50周年記念コンサート、及び祝賀会
5日 南郷トマト出荷協議会及び情報交換会
6日 只見町土地改良区理事会、只見町土地改良区臨時総代会
7日 南会津地方町村議員大会、定例庁議
8日 只見町消防団、広域消防只見出張所、駐在所員歓迎会
10日 集落活性化支援事業高橋元太郎氏講演会
11日 会津地方選出国会議員と南会津地方町村長の懇談会
12日 福島県町村長中央研修会
13日 会津方部3広域圏組合管理者会
14日 町交通安全対策協議会
15日 県道小林・館の川線建設期成同盟会総会、地域公共交通会議
16日 「自然首都・只見」臨時アンテナショップオープニング式典
19日 地域計画推進本部会議
21日 国道289号線建設期成同盟会中央要望、臨時庁議
22日 水の郷まつり実行委員会
23日 町政懇談会
25日 社会を明るくする運動住民集会
26日 教育委員会懇談会
27日 地域連携室との協議
28日 国道(289号線)八十里越地点開発促進期成同盟会総会及び懇親会
29日 水防本部会議、災害対策本部会議
30日 災害対策本部会議
31日 災害対策本部会議

町民の消息

(7月1日～7月31日届出分) 敬称略

■お誕生おめでとうございます

酒井 健生(たける)
(男/文高・治子) 只見
菅家 一晟(いっせい)
(男/大和・香) 只見
齋藤 仁(じん)
(男/聰・さゆり) 亀岡
渡部 耀人(あきと)
(男/敦・あゆみ) 只見

■ご結婚おめでとうございます

千葉県 小林 敦^{ハート}八木沢 五十嵐ゆか
小 川 目黒清次^{ハート}会津美里町 堀 美千代

■おくやみ申し上げます

馬 場 ミトリ	89	蒲 生	見 戸
鈴 木 智	77	只 楢	ノ岐 見
三 瓶 テルミ	89	塩 只	ノ岐 見
目 黒 俊 衛	95		
皆 川 恒 子	86		

※「町民の消息」欄に掲載を希望されない方は、届出のときにその旨をお伝えください。

人のうごき

平成23年7月1日現在

人口 4,857 (-4)
男 2,319 (+2)
女 2,538 (-6)
世帯数 1,861 (-1)
高齢化率 41.4%

※高齢化率とは、65歳以上の人人が人口に占める割合です。

転入 7 転出 4 出生 2 死亡 9

あとがき

△7月29日の新潟・福島豪雨で被災された町民の方々に心よりお見舞い申し上げます。△暑い日が続いている。健康にご留意いただき、無理されないようにお願いします。△災害ボランティアがこれからも必要です。ご協力いただける方は、災害ボランティアセンターへご連絡をお願いいたします。



地区センター長
馬場 博美

只見地区センター
図書室☎82-2141

おすすめ新着図書

★はやぶさ、そうまでして君は



川口淳一郎／著 (宝島社)
人類初の快挙、サンプル回収に成功! 「はやぶさ」生みの親・川口教授がはじめてすべてをつづった!
日本の宇宙開発の歴史を変えた、前人未到のプロジェクトの全容がここに。

★津波てんでんこ



山下文男／著 (新日本出版社)
日本は津波(TSUNAMI)の国である。2万8千余の命を奪った近代日本8度の大津波は我々に厳しく語り残している。命のほかに宝はない、全力で逃げろ。子どもの頃、津波を体験した著者が語る津波の恐怖と究極の津波防災。体験の風化に警鐘を鳴らす。

★錆を上げよ(上・下)



百田尚樹／著 (講談社)
この男、いったい、何者か。戦争が終わってちょうど10年目、いまだ空襲の跡が残る大阪の下町に生まれた作田又三。下品で、ざるくて、しぶとくて、ルール無視でも構いなし。人生の至る所で敗北を喫しながらも、絶対にへこたれない不屈の男。【2011年本屋大賞エントリー作品】

★只見地区センターの図書室が利用できます。図書室に関するご要望や購入図書のご希望など、お気軽に寄せください。

町民憲章

- 1、ゆたかな緑ときれいな水をまもり美しい町をつくりましょう
- 1、互いに助け合い親切をつくし楽しい町をつくりましょう
- 1、産業をおこしみんなで働く豊かな町をつくりましょう
- 1、教養を深め心と体をきたえ文化の町をつくりましょう
- 1、きまりを守り良い風習を育て住みよい町をつくりましょう

森の四季 Vol.16

只見町ブナセンター
TEL 0241(72)8355

ショウキラン (*Yoania. japonica*)

鐘馗蘭 <ラン科ショウキラン属>

只見には寄生植物と腐生植物が8種知られています。その中で、ショウキランは葉緑素をもたず菌類に寄生する腐生植物で、7月から8月、山地の林内や笹原に生えます。茎は直立し、高さ10~30cm、花は美しいピンク色。通年地下茎の形で生育し、7~8月の花期のみ花茎を地上に伸ばし花を咲かせます。腐生植物のラン科は、地味な褐色や白色が多い中で、このように鮮やかな色のものはめずらしく、花の様子が鳥帽子をかぶった鐘馗(ショウキ)様の姿に似ていることから、この名前がつけられたといわれています。



撮影／目黒美砂子さん

特別展示

○世界のブナ展 ~只見から世界まで~

期間:9月30日(金)まで

第12回ブナセンター講座

○世界のブナ、只見のブナ

講師:福嶋司さん(東京農工大学)

日時:9月11日(日)

問い合わせ

○只見町ブナセンター TEL0241-72-8355

○只見町産業振興課交流推進班 TEL0241-82-5240

※この広報紙は再生紙を使用しています

PRINTED WITH
SOY INK™

※環境にやさしい大豆油インキを使用しています

只見町 災害ボランティアセンター

〒968-0442

福島県南会津郡只見町大字長浜字唱平60番地
只見町社会福祉活動センター(やまびこ)内
社会福祉法人只見町社会福祉協議会

【問い合わせ】0241-84-2231

